

こうち子ども観光大使必須講座 盛会御礼新聞 春野文化ピアステージ

平成28年5月28日

こうち観光大使新聞

こうち子ども観光大使2016の

ついに開幕した「こうち子ども観光大使」。五月二十八日の必須講座には、県内の小学生三九名、保護者も含めると七十五名の参加と大盛会となった。開会式では高知県議会議員であり、こうち子ども観光大使実行委員会の顧問である田中とおる氏からの祝辞を紹介。

「こうち子ども観光大使2016」が開催されますことに心よりお祝い申し上げます。高知県には、豊かな自然や歴史、文化など全国に発信できる観光資源が多くあります。子どもの時から、ふるさとのよさに触れ、高知を誇りに思うことは、何より重要であり、これからの成長の過程において大きく寄与することと思っております。本活動を通じて、次代を担う多くの子ども達が高知県を誇りに思い、ふるさとの魅力を存分に発信されますようご期待申し上げます。

高知県議会議員 田中 徹

子ども観光大使の役割を学ぶ
まずは、1分間ジャンケンで



集まった子ども同士が交流する。「五枚のカードはありますか？1分間で多くの人とジャンケンをして下さい。勝ったらカードをもらいます。負けたらカードを渡します。」



最高枚数は低学年・高学年ともに8枚。ここでは拍手の練習もした。拍手の基本は「強く・短く・元氣よく」。会場中に子ども観光大使候補生の力強い拍手が響き渡っていた。

つぎに、子ども観光大使の役割について学ぶ。

その① 高知県を好きになる
その② 高知県のよさを伝える

将来、子どもたちが大人になったとき、自分の故郷自慢ができるようになって欲しい。そして、子ども観光大使には、地域のリーダー的存在にもなってもらいたい。そこで、笑顔で挨拶ができるリーダーを目指して「コミュニケーション脳トレスジュニア」の資格取得にも挑戦した。

コミュニケーション脳トレスジュニア 異年齢集団の中でも、笑顔で優しくリーダーシップが発揮できる人のこと。小学3年生以上が資格取得に挑戦できる。身に付ける力は、言葉を短くして説明する力、相手のやる気を引き出すために褒める力を身に付ける。

脳トレスジュニア育成のため講師には愛媛県の信藤明秀先生をお招きして、五色百人一首を自分たちで運営する方法、簡単な説明の仕方などを学んだ。



チャレラン大会運営にも挑戦

こうち子ども観光大使候補生の挑戦は続く。続いては、チャレラン大会の運営だ。先ほどの五色百人一首は4人一組の中のリーダーシップ。今回のチャレランでは

7〜8人の集団を統率する経験を積む。種目は、豆つかみ、紙ちぎり伸ばし、ペットボトルダンスなど。

児童①「ペットボトルダンスやりませんか？すいてますよ。」

児童②「やり方を説明します。」
広い会場でも、自分たちの声を

をしっかりと届かすことができている。さすがは観光大使候補生のみなんだ。



俳句づくりにも挑戦

子ども観光大使は、高知県のよさを発信するのがお仕事。そこで、発信方法の一つでもある【ふるさと俳句】作りにも挑戦をした。

初めての俳句作りの人も多かったが、熱心に説明を聞く姿が立派であった。早速作品作りに挑戦している人もいた。



資格取得試験に挑戦

最後は、コミュニケーション脳トレスジュニアの資格取得試験に挑戦した。小学3年生以上は、名前を呼ばれたら大きな声で返事をする。そして、観光大使になる決意などを30秒スピーチする。小学1、2年生は、名前を呼ばれたら大きな声で返事をするのが試験だ。これに合格すれば、子ども観光大使必須講座の修了証がもらえる。問題は、七十五名以上の人が見守る中、会場の前に立ち、堂々と声が出せるかどうか。



・みんなに観光スポットや名物を教えたいです。
・必要な観光スポットや名物を教えたいです。

・修了証の授与が行われた。

・修了証の授与が行われた。

・修了証の授与が行われた。

・修了証の授与が行われた。

・修了証の授与が行われた。

・修了証の授与が行われた。

・修了証の授与が行われた。

・修了証の授与が行われた。

・修了証の授与が行われた。

・修了証の授与が行われた。

・修了証の授与が行われた。

・修了証の授与が行われた。

・修了証の授与が行われた。

・修了証の授与が行われた。